

学科名	ファッションビジネス科											
分類	必修		必須 選択	○	学年	2	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									単位			
ソーイング I									2単位			
担当教員	伊澤 愛				科目区分	講義		演習		実習	100%	
実務経験のある教員等による 授業科目			○	経験 内容	実務経験13年。大手アパレルメーカー、東京コレクション参加ブランド、個人アトリエ、オーダー衣装メーカーにてパターンナーを経験。現在もフリーランスの外注パターンナーとしてパターンやオーダーの衣装制作を行い、研鑽を積んでいる。							
授業との関連性			アパレルメーカーのパタンナーとして培った知識や技術を活かし、実用性の高い衣服製作のプロセスを指導。様々なメーカーでの経験を活かし、学生のアイデンティティを引き出しクリエイティブな作品製作ができるよう指導する。									
授業目的	・課題作品の制作を通してデザイン発想のプロセスを体験する。											
	・衣服製作の応用テクニック習得し、作品の精度やパターンメイキング、縫製技術を身に付ける。											
到達目標	・立体裁断と平面製図を併用したファーストパターンから工業用パターンを作成できるようになる。											
	・素材の特性を理解し、素材に合ったデザイン、パターン製作ができるようになる。											
授業概要												
作品作りを通してデザインから制作までの服づくりの大変さや楽しさを体験する。デザインや素材によるパターンや仕様の違いを知り、理解し、縫製テクニックを修得する。												
時期	コマ数	授業内容(授業展開)										
4月	11	【課題作品2体】 (課題は個別に設定。春休み中にデザイン) 平面製図/立体裁断によるパターン作成					【裏無しジャケット】 パターンチェック トワルチェック					
5月	13	工業用パターン完成 裁断・芯貼り 縫製開始～7/月上旬完成 ・各自の作業工程スケジュール表を作成 ・デザイン画を立体へ					工業用パターン 裁断・芯貼り 部分縫い 縫製開始～7/下旬完成					
6月	14	・デザインに合わせた素材研究 ・仕様、縫製工程を考慮したパターンメイキング ・素材に合わせた裁断、縫製										
7月	12											
8月												
9月	8	【後期課題作品】準備 素材・デザイン決め、パターン製作										
留意事項	サマコン2体のディテールを使って小物やアクセサリを自由に製作する 【例】帽子、ヘッドアクセ、バッグ、巾着、オブジェなど											
教材、資料等	文化ファッション体系『ジャケット・ベスト』、『コート・ケープ』 ヒロ・デザインジャケット冊子、その他資料											
評価方法 対象・比重	・制作物70%・提出物(レポート含む)10%・取組姿勢20% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。											

学科名	ファッションビジネス科											
分類	必修		必須 選択	○	学年	2	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									単位			
ソーイング I									2単位			
担当教員	伊澤 愛				科目区分	講義		演習		実習	100%	
実務経験のある教員等による 授業科目			○	経験 内容	実務経験13年。大手アパレルメーカー、東京コレクション参加ブランド、個人アトリエ、オーダー衣装メーカーにてパタンナーを経験。現在もフリーランスの外注パタンナーとしてパターンやオーダーの衣装制作を行い、研鑽を積んでいる。							
授業との関連性			アパレルメーカーのパタンナーとして培った知識や技術を活かし、実用性の高い衣服製作のプロセスを指導。様々なメーカーでの経験を活かし、学生のアイデンティティを引き出しクリエイティブな作品製作ができるよう指導する。									
授業目的	・課題作品の制作を通してデザイン発想のプロセスを体験する。											
	・衣服製作の応用テクニック習得し、作品の精度やパターンメイキング、縫製技術を身に付ける。											
到達目標	・立体裁断と平面製図を併用したファーストパターンから工業用パターンを作成できるようになる。											
	・素材の特性を理解し、素材に合ったデザイン、パターン製作ができるようになる。											
授業概要												
クリエイティブな作品作りを通してデザインから制作までのモノづくりの大変さや楽しさを体験する。デザインや素材によるパターンや仕様の違いを知り、理解し、縫製テクニックを習得する。												
時期	コマ数	授業内容(授業展開)										
10月	15	【課題作品】2~4体 平面製図によるパターン作成 パターンチェック トワルチェック 工業用パターン完成 裁断・芯貼り 縫製開始~12/中旬完成										
11月	12											
12月	12	課題作品の残布を使った小物アイテムを作成 卒業企画発表に向けたプレゼン資料等のまとめ(ポートフォリオ作成)										
1月	15											
2月	13											
留意事項	残布を使って小物やアクセサリを自由に製作する【例】帽子、ヘッドアクセ、バッグ、巾着											
教材、資料等	文化ファッション体系『ジャケット・ベスト』、『コート・ケープ』 ヒロ・デザインジャケット冊子、その他資料											
評価方法 対象・比重	・制作物70%・提出物(レポート含む)10%・取組姿勢20% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。											

学科名	ファッションビジネス科											
分類	必修		必須 選択	○	学年	2	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									単位			
パターンメイキング I									5単位			
担当教員	井手 真由				科目区分	講義	100%	演習		実習		
実務経験者の授業科目			○	経験 内容	経験年数:3年 業務内容:レディースアパレルメーカー。婦人服アパレルメーカー、ニット・カットDIVにて企画デザイナー及び生産管理業務に従事。アパレル衣料の企画製作、商社。海外生産等で培った実践的な企画・デザイン、縫製技術、衣服の取扱い等を活かし、指導する。							
授業との関連性		パターンメイキングの基礎を基に、各アイテムの基本製図方法～応用展開を指導。企業で求められる多種多様な衣料のデザインに対応したパターン能力を修得する。										
授業目的		<ul style="list-style-type: none"> 基本的なパターン作成、展開の理論を理解し、各自デザインに合ったパターン作成ができるようになる。 素材の特性を理解し、素材に合ったデザイン、パターン製作を理解し応用できるようになる。 										
到達目標		<ul style="list-style-type: none"> パターンメイキング技術検定2級レベルのパターン能力の習得。 素材、デザイン、ターゲットに合ったパターン作成、展開、応用力を身に付ける。 										
授業概要												
常に身体の動き、構造からなる機能性の面とシルエット、見た目からなる美しさの両面からの美を意識したパターン作成を行うことで、理解を深め、応用力を身に付ける。												
時期	コマ数	授業内容										
4月	9	【ハイネックの基本講座】										
		【フード、フード応用】 フードの基本的な構造～パターン作成を学ぶ。 またフードの応用パターン作成方法を学ぶ。										
5月	11	【様々な袖を作る上で腕の構造理解】 袖山の傾斜の機能を学ぶ。シャツ袖、セットインスリーブ										
		【ラグランスリーブについて】 【裏無しジャケットの基本構造を知る】 縫い代始末方法、縫製、グレードによる縫製の違いについて理解する。										
		【グレーディングの基礎】 ・グレーディングとは既製服の寸法JIS規格サイズ、ピッチ数ネスト図 ・ピッチ式グレーディング (身頃、袖、襟、スカート、パンツ、ジャケット、その他のアイテム)										
6月	12	【きものスリーブ】 【まち入りスリーブ】 基本の製図から、応用パターン										
7月	7	【ドルマンスリーブ】 【エボレットスリーブ】 【襟応用デザイン】										
		【コートのパターン、仕様の理解】 ルダンゴト、トレンチコート、ダッフルコート、Pコート 仕様について 各自デザインのコートパターン作成										
9月	5	【応用デザイン】 様々なデザインのパターンを理解する事で各自の応用パターン作りができるようになる。										
留意事項		授業後はノートまとめ、復習をし、理解を深めることとする										
教材、資料等		文化ファッション体系『ジャケット・ベスト』、『スカート・パンツ』 ヒロ・デザインジャケット冊子、その他資料										
評価方法 対象・比重		<ul style="list-style-type: none"> テスト70%・提出物(レポート含む)20%・取組姿勢10% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。 										

学科名	ファッションビジネス科											
分類	必修		必須 選択	○	学年	2	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									単位			
パターンメイキング I									5単位			
担当教員	井手 真由				科目区分	講義	100%	演習		実習		
実務経験者の授業科目			○	経験 内容	経験年数:3年 業務内容:レディースアパレルメーカー。婦人服アパレルメーカー、ニット・カットDIVにて企画デザイナー及び生産管理業務に従事。アパレル衣料の企画製作、商社。海外生産等で培った実践的な企画・デザイン、縫製技術、衣服の取扱い等を活かし、指導する。							
授業との関連性		パターンメイキングの基礎を基に、各アイテムの基本製図方法～応用展開を指導。企業で求められる多種多様な衣料のデザインに対応したパターン能力を修得する。										
授業目的	<ul style="list-style-type: none"> 基本的なパターン作成、展開の理論を理解し、各自デザインに合ったパターン作成ができるようになる。 素材の特性を理解し、素材に合ったデザイン、パターン製作を理解し応用できるようになる。 											
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> パターンメイキング技術検定2級レベルのパターン能力の習得。 素材、デザイン、ターゲットに合ったパターン作成、展開、応用力を身に付ける。 											
授業概要												
常に身体の動き、構造からなる機能性の面とシルエット、見た目からなる美しさの両面からの美を意識したパターン作成を行うことで、理解を深め、応用力を身に付ける。												
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
10月	14	【まち裏について】 きものスリーブ、まち入りの裏パターンの理論～基本的なまち入りの裏パターン作成を学ぶ 【ケープ】 ・ケープについて(形態、構造)～ケープの基本的なパターン作成方法を学ぶ										
11月	12	【ニットについて】 種類・特性・扱い方 ニットの編地、特性を知る*ニットパターンの考え方の理解 【パンツ】裏パターンの考え方										
12月	12	【皮革について】⑥種類・特性・扱い方 【毛皮について】③ 種類・特性・扱い方										
1月	7	【レースについて】④ 種類・特性・扱い方 【フォーマルウェアについて】										
2月	9	【子供服】 体型の違いによるパターン変化 後期テスト										
留意事項												
教材、資料等		文化ファッション体系『ブラウス・ワンピース』『ジャケット・ベスト』 その他資料										
評価方法 対象・比重		・テスト70%・提出物(レポート含む)20%・取組姿勢10% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名	ファッションビジネス科											
分類	必修		必須 選択	○	学年	2	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									単位			
ドレーピング I									1単位			
担当教員	伊澤 愛				科目区分	講義		演習		実習	100%	
実務経験のある教員等による 授業科目	○	経験 内容	実務経験13年。大手アパレルメーカー、東京コレクション参加ブランド、個人アトリエ、オーダー衣装メーカーにてパターンナーを経験。現在もフリーランスの外注パターンナーとしてパターンやオーダーの衣装制作を行い、研鑽を積んでいる。									
授業との関連性	アパレルメーカーのパターンナーとして培った知識や技術を活かし、実用性の高い衣服製作のプロセスを指導。様々なメーカーでの経験を活かし、学生のアイデンティティを引き出しクリエイティブな作品製作ができるようサポートする。											
授業目的	<ul style="list-style-type: none"> 基礎を理解し、立体裁断で基本的なシルエットを出す知識と技術の修得。 ドレーピングの表現テクニックを向上させ、応用力を身に付ける。 											
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> イメージをシルエットで表現し、完成度の高い形に具現化できるようになる。 平面構成と立体構成を併用する理論と技術を習得し作品を制作する。 											
授業概要												
立体裁断の応用。立体だからこそ可能な複雑なデザインに挑戦。平面構成と立体裁断を併用し、ダーツ展開や見返しの構造、身体から離れたデザインの作り方やパターンテクニックについて学ぶ。ファッションデザインにおいて自由な創造力と発想力、そしてその表現テクニックを向上させる。												
時期	コマ数	授業内容(授業展開)										
4月	4	アンダーバスト切替のギャザー ・胸ぐせダーツのギャザー展開										
5月	8	サイドネックからのドレープ ・胸ぐせダーツのドレープ展開 胸元のドレープ ・胸ぐせダーツのドレープ展開、バイアス使い										
6月	8	竹の子 ・胸ぐせダーツの展開、1枚の布から重なるタック 結ぶ ・切り開いて伸ばしたボーを結ぶ ドレープ ・左右に身頃を交差させたドレープ ジャケット ・3面構成										
7月	6	ジャケット ・4面構成										
8月		夏季休暇 パターン検定2級 模擬試験										
9月	4	かくれんぼ ・隠れたフレアー										
留意事項												
教材、資料等	文化ファッション体系 立体裁断 基礎編、文化ファッション体系 立体裁断 応用編、パターンマジック全集 文化出版局、VIONNET 副読本 文化出版局、その他資料コピー											
評価方法 対象・比重	<ul style="list-style-type: none"> 立体裁断トワル・パターン60%・テスト30%・取組姿勢10% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。 											

学科名	ファッションビジネス科											
分類	必修		必須 選択	○	学年	2	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									単位			
ドレーピング I									1単位			
担当教員	伊澤 愛				科目区分	講義		演習		実習	100%	
実務経験のある教員等による 授業科目	○	経験 内容	実務経験13年。大手アパレルメーカー、東京コレクション参加ブランド、個人アトリエ、オーダー衣装メーカーにてパターンを経験。現在もフリーランスの外注パターンとしてパターンやオーダーの衣装制作を行い、研鑽を積んでいる。									
授業との関連性	アパレルメーカーのパタンナーとして培った知識や技術を活かし、実用性の高い衣服製作のプロセスを指導。様々なメーカーでの経験を活かし、学生のアイデンティティを引き出しクリエイティブな作品製作ができるよう指導する。											
授業目的	<ul style="list-style-type: none"> 基礎を理解し、立体裁断で基本的なシルエットを出す知識と技術の修得。 ドレーピングの表現テクニックを向上させ、応用力を身に付ける。 											
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> イメージをシルエットで表現し、完成度の高い形に具現化できるようになる。 平面構成と立体構成を併用する理論と技術を習得し作品を制作する。 											
授業概要												
立体裁断の応用。立体だからこそ可能な複雑なデザインに挑戦。平面構成と立体裁断を併用し、ダーツ展開や見返しの構造、身体から離れたデザインの作り方やパターンテクニックについて学ぶ。ファッションデザインにおいて自由な創造力と発想力、そしてその表現テクニックを向上させる。												
時期	コマ数	授業内容(授業展開)										
10月	8	ギャザー入りフレンチスリーブ ・ギャザーバリエーション カシュクールブラウス ・ドレープバリエーション										
11月	8	ジオメトリック ・図形の再構築										
12月	8	デコレーションの仕組み ・ノット・見返ししだい 消える ・ディテールの一部を消す										
1月	6	華麗な細工 ・削って開く ・多面体										
2月	6	バイアスカットの作品 ・マドレーヌ・ヴィオネ										
留意事項												
教材、資料等	文化ファッション体系 立体裁断 基礎編、文化ファッション体系 立体裁断 応用編、パターンマジック全集 文化出版局、VIONNET 副読本 文化出版局、その他資料コピー											
評価方法 対象・比重	<ul style="list-style-type: none"> 立体裁断トワル・パターン60%・テスト30%・取組姿勢10% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。											

学科名	ファッションビジネス科										
分類	必修	○	必須 選択	学年	2	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名								単位			
アパレル素材論								1単位			
担当教員	伊澤 愛			科目区分	講義	80%	演習		実習	20%	
実務経験のある教員等による 授業科目	○	経験 内容	実務経験13年。大手アパレルメーカー、東京コレクション参加ブランド、個人アトリエ、オーダー衣装メーカーにてパターンナーを経験。現在もフリーランスの外注パターンナーとしてパターンやオーダーの衣装制作を行い、研鑽を積んでいる。								
授業との関連性	アパレルメーカーのパターンナーとして培った知識や技術を活かし、実用性の高い衣服製作のプロセスを指導。様々なメーカーでのアパレル素材と向き合った経験を活かし、講義にて基礎知識教授し、実習を通して素材の特性を体験させ理解を深める。										
授業目的	繊維や布地の種類、特徴を習得し、アパレル製品になった際の特徴を予想できる知識を得ることを目的とする。										
	実習により、染色や加工などの種類や特徴について理解を深め、アパレル業界での実践力につなげる。										
到達目標	布地の種類と性能の基本を理解し、アパレル製品となった際のを表現テクニックを学び応用力を向上させる。										
	アパレル製品の染色・加工の観点からテキスタイルについての理解を深めることを目標とする。										
授業概要											
実習を多く取り入れ、実践型の授業とし、素材への興味関心をもたせる。講義とともに実物の布地教材に触れながら、繊維、糸、布地についての理解を深める。製品加工のプロセスを体験し、加工の種類やテクニックなどの知識を習得。 【実習】服装調査、様々な布地とふれあう、アイテムごとの布地表現、副資材に触れる、製品染め、染色・注染、捺染(シルクスクリーン・マーブル染め)、羊毛フェルト製作、ダーニング、割き織りなど											
時期	コマ数	授業内容(授業展開)									
4月	3	<ul style="list-style-type: none"> ・アパレル製品の品質表示を通して、繊維組成や取扱い方 *実習・アパレル素材の認識(服装調査) 素材の種類と主要アイテム *実習・染色(草木染) ・各繊維素材の原料代表的な織物の種類と特徴についての *実習・さまざまな布地に触れる 									
5月	4	<ul style="list-style-type: none"> ・素材の表現・素材の加工・皮革と毛皮・高機能化学繊維素 *実習・布の表情を伝える 繊維や布地のグレード(産地、価格帯) *実習・蓼藍種まき 副資材の知識、衣服構成 									
6月	4	<ul style="list-style-type: none"> ・副資材の種類と構造、性質(テープ ブレード レース 肩パッド ボタン ファスナー) サイズの知識・サイズの規格と表示方法・インポートサイズ *実習・人体計測方法 身体寸法の定義と計測方法 *実習・染色(化学染料)デモンストレーション ・身体寸法の定義と計測方法・衣服(素材)別フィット性 *実習・染色(化学染料)製品染め 									
7月	3	<ul style="list-style-type: none"> 素材と製品加工 *実習・染色(草木染) ・染色の基本・加工方法と注意点 *実習・生地サンプル帳作成 									
8月		夏季休暇 ファッション販売検定課題									
9月	3	<ul style="list-style-type: none"> 期末テスト *実習・捺染(シルクスクリーン) 									
留意事項											
教材、資料等	文化ファッション体系 アパレル素材論、アパレル染色論、ファッション販売検定2級、その他資料コピー										
評価方法 対象・比重	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト70%・提出物(レポート含む)20%・取組姿勢10% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。 										

学科名	ファッションビジネス科										
分類	必修	○	必須 選択	学年	2	年	学期	前期		後期	○
授業科目名								単位			
アパレル素材論								1単位			
担当教員	伊澤 愛			科目区分	講義	80%	演習		実習	20%	
実務経験のある教員等による 授業科目	○	経験 内容	実務経験13年。大手アパレルメーカー、東京コレクション参加ブランド、個人アトリエ、オーダー衣装メーカーにてパタンナーを経験。現在もフリーランスの外注パタンナーとしてパターンやオーダーの衣装制作を行い、研鑽を積んでいる。								
授業との関連性	アパレルメーカーのパタンナーとして培った知識や技術を活かし、実用性の高い衣服製作のプロセスを指導。様々なメーカーでのアパレル素材と向き合った経験を活かし、講義にて基礎知識教授し、実習を通して素材の特性を体験させ理解を深める。										
授業目的	繊維や布地の種類、特徴を習得し、アパレル製品になった際の特徴を予想できる知識を得ることを目的とする。										
	実習により、染色や加工などの種類や特徴について理解を深め、アパレル業界での実践力につなげる。										
到達目標	布地の種類と性能の基本を理解し、アパレル製品となった際の表現テクニックを学び応用力を向上させる。										
	アパレル製品の染色・加工の観点からテキスタイルについての理解を深めることを目標とする。										
授業概要											
<p>実習を多く取り入れ、実践型の授業とし、素材への興味関心をもたせる。講義とともに実物の布地教材に触れながら、繊維、糸、布地についての理解を深める。製品加工のプロセスを体験し、加工の種類やテクニックなどの知識を習得。</p> <p>【実習】服装調査、様々な布地とふれあう、アイテムごとの布地表現、副資材に触れる、製品染め、染色・注染、捺染(シルクスクリーン・マーブル染め)、羊毛フェルト製作、ダーニング、割き織りなど</p>											
時期	コマ数	授業内容(授業展開)									
10月	4	<p>ファッションビジネス検定対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3級テキスト含めた復習 <p>ファッション販売検定対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3級テキスト含めた復習 <p style="text-align: right;">*実習・羊毛フェルト</p>									
11月	3	<p>副資材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テープ、ブレード、装飾レースについて: <p style="text-align: right;">*実習・カーデイング・撚糸</p> <p>肩パット、アンダーウェアについて</p> <p>ラメ、スパンゲル、ビーズ、エンブレム:スタッズ、バックルなどの装飾品について</p>									
12月	3	<ul style="list-style-type: none"> ・織ネーム、サイズ、選択ラベルについて <p style="text-align: right;">*実習・割き織り(ウィービング)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイズ表記について <p>サイズ規格と表示方法</p>									
1月	4	<p>JIS規格、インポートサイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特殊素材の取扱いについて ・高級素材の取扱いについて <p style="text-align: right;">*実習・ダーニング</p>									
2月	2	<ul style="list-style-type: none"> ・アパレル繊維業界の現状について(織研新聞) <p>期末テスト</p> <p>素材によるクレーム問題</p> <p>素材の耐久性(摩擦・伸び・ダレ・色落ち)</p>									
留意事項											
教材、資料等	文化ファッション体系 アパレル素材論、アパレル染色論、ファッション販売検定2級、その他資料コピー										
評価方法 対象・比重	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト70%・提出物(レポート含む)20%・取組姿勢10% <p>*試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。</p>										

学科名	ファッションビジネス科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	2	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									単位			
アパレル品質論									1単位			
担当教員	井手 真由				科目区分	講義	90%	演習		実習	10%	
実務経験者の授業科目			○	経験 内容	経験年数:3年 業務内容:レディースアパレルメーカー。婦人服アパレルメーカー、ニット・カットDIVにて企画デザイナー及び生産管理業務に従事。アパレル衣料の企画製作、商社。海外生産等で培った実践的な企画・デザイン、縫製技術、衣服の取扱い等を活かし、指導する。							
授業との関連性			アパレル製品に求められる品質について指導。 企業で求められる多種多様な衣料のデザインに対応した品質管理を修得する。									
授業目的	アパレル製品の多様化に対応するため、適切な素材の選択・縫製・仕立映えの評価ができるようになる。 消費者に満足感を抱かせる内容の理解と製品化した洋服の取り扱いとアフターケアについて学ぶ。											
到達目標	アパレル製品の取り扱いを含むニット・デメリットの特性を理解し、品質向上に留意できるようになる。 縫製の良し悪し、価格帯の違いなど素材との関連性を理解する。											
授業概要												
教材を基に座学で習得した知識を実践方式で実習を行う。「知る」から「できる」への実習を行い、理解力を深める。												
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
4月	1	アパレル製品に求められる品質と機能										
	2	管理について…管理とは、管理の必要性について(管理が必要となった背景を含め理解する) 品質管理とは…PDCA 品質検査基準ガイドラインについて 生産管理とは…品質評価 上衣、スカート、パンツ、ニット等各アイテムのチェックポイント										
	1	消費者、小売における品質 染色堅牢度 形態安定性										
5月	2	品質表示 家庭用品品質表示法に基づく繊維製品の品質表示										
	1	・繊維の組成表示・家庭洗濯等取扱方法										
	1	・繊維の組成表示・家庭洗濯等取扱方法 ・表示者名・混用率・絵表示の理解										
6月	1	洗濯実習…染み抜き、汚れ落としの洗濯実習										
	2	原産国表示 ・実際の商品表示 ・PL法・薬事法・JISサイズ表示 ・国内、国外のサイズ表記 アパレル製品の取り扱い・手入れ ・耐洗濯性										
	1	汚れと洗浄過程 繊維、製品に適した洗剤										
	1	洗剤と耐光性 ドライクリーニングと家庭洗濯										
7月	1	アイロン、漂白、増白、しみ抜き										
	2	洗濯・アイロン実習② アパレル製品の保管 ・保管の条件・保管の方法										
9月	1	商品の保証について クレームについて										
	1	クレーム対策 取扱い注意事項										
	1	製品の品質保証										
留意事項												
教材、資料等	教科書:ファッションビジネス2級 資料:アパレル生産管理、アパレル品質管理、生産企画、品質企画、織研新聞 プリント対応											
評価方法 対象・比重	後期評価テスト70%、小テスト及び提出物20%、取組姿勢10% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、 (GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。											

学科名	ファッションビジネス科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	2	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									単位			
生産管理									1単位			
担当教員	井手 真由				科目区分	講義	90%	演習	10%	実習		
実務経験者の授業科目			○	経験 内容	経験年数:3年 業務内容:レディースアパレルメーカー。婦人服アパレルメーカー、ニット・カットDIVにて企画デザイナー及び生産管理業務に従事。アパレル衣料の企画製作、商社。海外生産等で培った実践的な企画・デザイン、縫製技術、衣服の取扱い等を活かし、指導する。							
授業との関連性		アパレル製品を生産する上での生産管理について指導。 企業・市場で求められる多種多様な衣料のデザインに対応した生産管理を修得する。										
授業目的	アパレル業界における生産管理の必要性とその管理の目的を理解する											
到達目標	PDCAを理解し、何事においても自分で計画、行動し、その結果の検討、処置が出来るようになる。 常に問題意識を持ち、原因追及、対処が自分で考えられるようになる											
授業概要												
教材を基に座学で習得した知識を実践方式で実習を行う。「知る」から「できる」への実習を行い、理解力を深める。 オリジナルショップの生産管理を演習として入れ、商品管理、品質管理を演習を通してより理解する												
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
10月	1	管理とは何なのか、生産管理の必要性について(管理が必要となった背景を含め理解する)										
	2	アパレル業界の生産構造と機能について アパレル業界仕事について(種類、役割について理解を深める)										
	1	アパレル生産の流れ(企画から生産、流通への一連の流れについて)生産と物流										
11月	2	商品化計画(商品を作る流れと生産管理の役割) アパレル生産管理、素材調達管理 物流、SCMについて										
	1	管理のサークルについて(PDCAの考え方を理解する)										
	1	生産管理の実務(アパレル生産工場、日本の生産背景など)										
12月	1	生産管理と品質管理について(生産、環境問題、安全性に関して)										
	1	原価について(どのようにして原価が決まるのか、原価の構造について)										
1月	1	販売の面から見た品種と品質について(グレードの違いを理解)										
	1	納品とクレームについて										
	1	PD 生産の面から見た生産管理 (工場の選定や素材調達、原価交渉、納期管理等)										
2月	1	後期評価テスト										
	1	「生産管理・品質管理」まとめと検査・検品について										
留意事項												
教材、資料等	教科書:ファッションビジネス2級 資料:アパレル生産管理、アパレル品質管理、生産企画、品質企画、織研新聞 プリント対応											
評価方法 対象・比重	後期評価テスト70%、小テスト及び提出物20%、取組姿勢10% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、 (GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。											

学科名	ファッションビジネス科											
分類	必修		必須 選択	○	学年	2	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									単位			
ファッションビジネス論									2単位			
担当教員	馬場裕二				科目区分	講義	90%	演習	10%	実習		
実務経験のある教員等による 授業科目			○	経験 内容	経験年数:5年 業務内容:アパレル販売代行サービス会社にて商品企画・管理、店舗管理に従事。その後新規事業部にて店舗の企画、開業、運営に従事。 経歴: 自社ブランドの商品企画、商品管理、店舗及びスタッフの管理業務から店舗の企画～開業、運営(仕入/接客/補正/リメイク)等の店舗経営全般に従事。							
授業との関連性			商品の企画～仕入(古着含む)～販売～補正(リメイク)まで、店舗の企画～開業～運営までの経験を踏まえ、アパレルの基本構造と現場から得た消費者ニーズ等を、講義と実習を通して教授する。									
授業目的	ファッションビジネス業界で即戦力として活躍できるための業界事情、流通・物流、商品取引等の必要な専門知識を学ぶ											
到達目標	ファッションビジネス能力検定2級レベルの専門知識を修得し、業界で即戦力として活躍するための必要な専門知識を身に付ける											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
4月	6	1. ファッションビジネスの特性 ①ファッションビジネスの事業特性 ②繊維ファッション産業の歴史 ③近年のファッションビジネス動向 <div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">※二次流通市場について補足</div>										
5月	8	2. ファッション生活とファッション消費 ①ファッション消費行動 ②現在のファッション消費 <div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">※リセールバリューについて補足</div> 3. ファッション産業構造 ①グローバルな視点でとらえたアパレル産業 ②繊維産業の知識 ③グローバルな視点でとらえた小売業とSC ④服飾雑貨産業、ファッション関連産業・機関 <div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">※古着、リメイク商品について補足</div>										
6月	8	4. ファッションマーケティング ①企業環境の分析方法 ②アパレル企業のマーケティング ③小売業のマーケティング ④インターネットとマーケティング										
7月	6	7. ファッション流通 ①アパレル流通戦略 ②アパレル、小売り、SCの取引特性 ③アパレル営業とチャンネル管理										
8月		夏休み(課題:名称復習、過去問)										
9月	4	8. 販売管理とプロモーション ①単独店舗運営、販売スタッフ管理 ②多店舗運営 ③販売計画、販売管理 ④ファッション企業のプロモーション ⑤ショップのプロモーション ・期末テスト ・振り返り										
留意事項												
教材、資料等		教科書・業界情報誌等										
評価方法 対象・比重		試験70%・取組姿勢30% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名	ファッションビジネス科											
分類	必修		必須 選択	○	学年	2	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									単位			
ファッションビジネス論									2単位			
担当教員	馬場裕二				科目区分	講義	90%	演習	10%	実習		
実務経験のある教員等による 授業科目	○			経験 内容	<small>経験年数:5年 業務内容:アパレル販売代行サービス会社にて商品企画・管理、店舗管理に従事。その後新規事業部にて店舗の企画、開業、運営に従事。 経歴: 自社ブランドの商品企画、商品管理、店舗及びスタッフの管理業務から店舗の企画～開業、運営(仕入/接客/補正/リメイク)等の店舗経営全般に従事。</small>							
授業との関連性	商品の企画～仕入(古着含む)～販売～補正(リメイク)まで、店舗の企画～開業～運営までの経験を踏まえ、アパレルの基本構造と現場から得た消費者ニーズ等を、講義と実習を通して教授する。											
授業目的	ファッションビジネス業界で即戦力として活躍できるための業界事情、流通・物流、商品取引等の必要な専門知識を学ぶ											
到達目標	ファッションビジネス能力検定2級レベルの専門知識を修得し、業界で即戦力として活躍するための必要な専門知識を身に付ける											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
10月	8	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアプラン <ul style="list-style-type: none"> ①ファッション業界の職業別業務内容 ②職業人の活動と自己啓発・自己管理 ・ビジネス基礎知識 <ul style="list-style-type: none"> ①マネジメント基礎知識、IT基礎知識 ②企業会計 ③計数管理 ・演習 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;">※二次流通市場について補足</div>										
11月	8	<ul style="list-style-type: none"> ・FB検定2級試験対策 これまでの振り返り 過去問模擬テスト、解説 新聞等からの時事知識 ・検定受験後の講評 										
12月	10	<ul style="list-style-type: none"> ・セレクトショップ出店での実務 ・演習 ・アパレル産業 地方卸商、商社の現状について 										
1月	4	<ul style="list-style-type: none"> ・売上係数分析手法 ショップ企画の実施結果をFB係数を用いて分析 ・演習 										
2月	6	<ul style="list-style-type: none"> ・FBに関する法務の知識 ・貿易に関する基礎知識 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;">※古物商等補足</div>										
留意事項												
教材、資料等	教科書・業界情報誌等											
評価方法 対象・比重	試験70%・取組姿勢30% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。											

学科名	ファッションビジネス科						年度	R7年度			
分類	必修	○	選択		学年	2	年	学期	前期	○	後期
授業科目名								総単位時間数			
販売技術								2単位			
担当教員	新原 麻乃					科目区分	講義	50%	演習	50%	実習
実務経験のある教員等による 授業科目			経験 内容		経験年数:13年 業務内容:大手アパレル会社にて販売職に従事 経歴:大手アパレル会社主催ロールプレイングコンテスト優勝 優秀な販売職への称号「プロフェッショナルFA」授与 入社2～3年目の研修担当 等。						
授業との関連性			13年間、販売の最前線に立ち学んだことを活かし、お客様視点での接客対応スキル、及び、販売員としての立ち振る舞いを講義、実習を通して習得できるよう指導する。								
授業目的	ファッション販売知識と販売技術を学び、学んだことを実践で活かすための能力を身に付ける ファッションを小売業として捉え、お客様に選ばれるお店とは…を「人・モノ・うつわ」で考えることのできる人材となる										
到達目標	・ロールプレイングを通して、学んだことを実践で使える状態 ・「人・モノ・うつわ」それぞれの視点で自身の考えるショップを提案できる状態										
授業概要											
小売業としてのファッションを「人・モノ・うつわ」で考える力、自身の考えを他者へと伝える力、設定した目標数値達成のための行動力ある人材の育成											
時期	回数	授業内容(授業展開)									
4月		【販売知識】 ①販売スタッフへの期待、販売スタッフの役割									
		②販売に必要な情報									
		③顧客作りの重要性と管理術									
5月		【販売技術】 ①お客様に関する知識									
		②コーディネート提案①									
		②コーディネート提案②									
6月		③服飾雑貨の販売技術(靴)									
		④服飾雑貨の販売技術(アクセ)									
		⑤クレーム									
		⑥外国人客への接客、AIと接客									
7月		【売り場づくり】①市場の変化とVMD									
		②店舗コンセプトの具現化とVMD									
		③VMD計画の実施①									
8月		夏休み (課題:ショップリサーチ)									
9月		④VMD計画の実施②									
		⑤商品陳列の構成方法～業態別VMDの特徴									
留意事項	スケジュール管理をしっかりと行い、提出物の期限厳守と前もった授業準備で忘れ物をしないこと										
教材、資料等	・ファッション販売2 ・ファッション雑誌										
評価方法 対象・比重	評価試験80%、提出物10%、取り組み姿勢10% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名	ファッションビジネス科						年度	R7年度				
分類	必修	○	選択		学年	2	年	学期	前期		後期	○
授業科目名								総単位時間数				
販売技術								2単位				
担当教員	新原 麻乃					科目区分	講義	50%	演習	50%	実習	
実務経験のある教員等による 授業科目			経験 内容		経験年数:13年 業務内容:大手アパレル会社にて販売職に従事 経歴:大手アパレル会社主催ロールプレイングコンテスト優勝 優秀な販売職への称号「プロフェッショナルFA」授与 入社2～3年目の研修担当 等。							
授業との関連性			13年間、販売の最前線に立ち学んだことを活かし、お客様視点での接客対応スキル、及び、販売員としての立ち振る舞いを講義、実習を通して習得できるよう指導する。									
授業目的	ファッション販売知識と販売技術を学び、学んだことを実践で活かすための能力を身に付ける ファッションを小売業として捉え、お客様に選ばれるお店とは…を「人・モノ・うつわ」で考えることのできる人材となる											
到達目標	・目標を数値化し、より具体的なお店をイメージした提案力とそれをプレゼンする力が身につけている状態 ・リアルショップに向けた5適を自身で考えることができる状態 ・人・モノ・うつわを具体化するための行動力と売り上げに繋げる提案力を身につけている状態											
授業概要												
①自分で考える力、②その考えをファッションで表現し他者へと伝える力、③設定した目標数値達成のための行動力を発揮し、セレクトショップの予算達成に向けて努める												
時期	回数	授業内容(授業展開)										
10月		【レイアウトが与える影響】・什器、商品を使ったVMD実践トレーニング①										
		【SNS活用】・投稿、インスタライブ実践トレーニング①										
		・セールストーク共有会 ・什器、商品を用いて配置シュミレーションとロールプレイング①										
11月		・什器、商品を用いて配置シュミレーションとロールプレイング② 【ショップオープン】・随時レイアウト修正										
		・商品動向の確認 ・販促物確認										
12月		} セレクトショップを終えて…の気づきを活かしたセカンドショップ案 (ヒト・モノ・ウツワを中心として、予算に対してあと〇〇円足りなかったものとは??を考える)										
1月												
2月												
留意事項	スケジュール管理をしっかり行い、提出物の期限厳守と前もった授業準備で忘れ物をしないこと											
教材、資料等	・ファッション販売2 ・ファッション雑誌											
評価方法 対象・比重	評価試験80%、提出物10%、取り組み姿勢10% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。											

学科名	ファッションビジネス科												
分類	必修		必須 選択	○	学年	2	年	学期	前期	○	後期		
授業科目名									単位				
スタイリング論									3単位				
担当教員	新原 麻乃				科目区分	講義	40%	演習		実習	60%		
実務経験のある教員等による 授業科目			○	経験 内容	経験年数:13年 業務内容:大手アパレル会社にて販売職に従事 経歴:大手アパレル会社主催ロールプレイングコンテスト優勝 優秀な販売職への称号「プロフェッショナルFA」授与 入社2～3年目の研修担当 等。								
授業との関連性			13年間、販売の最前線に立ち学んだことを活かし、多様なお客様ニーズに合わせた販売員としてのコーディネート力とスタイリング力を、講義、演習を通して習得できるよう指導する。										
授業目的	・1年次に学んだスタイリングの基礎知識をもとに、シーンに合わせたコーディネート力と体系、年齢に合わせたスタイリング力の実践力をアップする ・時代の流れをつかみ、学んだトレンドをファッションで表現する力を身に付ける												
到達目標	・お客様それぞれののりたいイメージを可視化させ、これをセールストークとして提案できる状態 ・お題(テーマ)を表現するため、イメージと連携したシルエット、ディテール、イメージを表現する素材、カラーが理解できている状態												
授業概要													
年齢、体系、シーンに合わせたコーディネート、スタイリング力を身に付け、他者をステキにし喜んでもらうと同時に、自身のおしゃれ度アップを図る													
時期	コマ数	授業内容(授業展開)											
4月	9	《雑誌分析》 ①自身の就職希望先のイメージに合った(もしくは商品が掲載)雑誌の選出 ②雑誌の歴史、ターゲット、ポジショニング分析 ③今月号のトレンドキーワード(アイテムや着こなし)の抽出 ④結果まとめ ⑤分析前後での自身のコーディネートビフォーアフター ④レポート・プレゼン							インスタグラム投稿(3枚以上) 月末振り返り(レポート)				
5月	12	《自身の1WEEKコーディネート》 ①雑誌分析を活かし、1WEEKの自身のコーディネート撮影(就職先考慮) ②コーディネートのテーマ、解説を考える ③紙面に表現(分析雑誌を見本に自分なりの構成、レイアウト配置、フォントや背景に至るまで追及) ④レポート・プレゼン							インスタグラム投稿(5枚以上) 月末振り返り(レポート)				
6月	12	《今年の足元はこれ!!》 ①選出雑誌を継続し、今年の打ち出しシューズを分析(3～5アイテム) ②選出した3～5アイテムを解説 ③足元に注目したおすすめコーディネート ④分析前後での自身のコーディネートビフォーアフター ⑤レポート・プレゼン							インスタグラム投稿(4枚以上) 月末振り返り(レポート)				
7月	9	《浴衣・水着・キャンプの最新事情》 ①選出雑誌を継続し、上記3つの項目から1つを選び分析 ②選出アイテムの解説 ③選出のおすすめコーディネート ④レポート・プレゼン							インスタグラム投稿(3枚以上) 月末振り返り(レポート)				
8月		夏休み											
9月	9	《浴衣・水着・キャンプの最新事情》 ①選出雑誌を継続し、上記3つの項目から1つを選び分析 ②選出アイテムの解説 ③選出のおすすめコーディネート ④レポート・プレゼン							インスタグラム投稿(2枚以上・前期トータル17枚以上) 前期振り返り(レポート)				
留意事項	スケジュール管理をしっかり行い、提出物の期限厳守と前もった授業準備で忘れ物をしないこと												
教材、資料等	・ファッション雑誌												
評価方法 対象・比重	提出物90%、取り組み姿勢10% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。												

学科名	ファッションビジネス科											
分類	必修		必須 選択	○	学年	2	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									単位			
スタイリング論									3単位			
担当教員	新原 麻乃				科目区分	講義	40%	演習		実習	60%	
実務経験のある教員等による 授業科目			○	経験 内容	経験年数:13年 業務内容:大手アパレル会社にて販売職に従事 経歴:大手アパレル会社主催ロールプレイングコンテスト優勝 優秀な販売職への称号「プロフェッショナルFA」授与 入社2～3年目の研修担当 等。							
授業との関連性			13年間、販売の最前線に立ち学んだことを活かし、多様なお客様ニーズに合わせた販売員としてのコーディネート力とスタイリング力を、講義、演習を通して習得できるよう指導する。									
授業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次に学んだスタイリングの基礎知識をもとに、シーンに合わせたコーディネート力と体系、年齢に合わせたスタイリング力の実践力をアップする ・時代の流れをつかみ、学んだトレンドをファッションで表現する力を身に付ける 											
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様それぞれののりたいイメージを可視化させ、これをセールストークとして提案できる状態 ・お題(テーマ)を表現するため、イメージと連携したシルエット、ディテール、イメージを表現する素材、カラーが理解できている状態 											
授業概要												
年齢、体系、シーンに合わせたコーディネート、スタイリング力を身に付け、他者をステキにし喜んでもらうと同時に、自身のおしゃれ度アップを図る												
時期	コマ数	授業内容(授業展開)										
10月	12	《今年の柄事情》 ①選出雑誌を継続し、今年の柄トレンドを抽出 ②柄の歴史をクローズアップ ③注目柄を活かしたアイテムとそのおすすめコーディネート、その解説 ④レポート・プレゼン						Instagram投稿(3枚以上) 月末振り返り(レポート)				
11月	9	《旬のアウター》 ①選出雑誌を継続し、コートとダウンそれぞれのトレンドキーワードを抽出 ②それぞれ旬の特徴(素材、色、シルエット、ディテールなどを)分析・解説 ③旬のアウターを用いたおすすめのコordinatEとそのスタイリング方法 ④分析を活かした自身のコーディネートビフォーアフター ⑤レポート(BOOK)・プレゼン						Instagram投稿(4枚以上) 月末振り返り(レポート)				
12月	9	《成人式で見つけたおしゃれさん》 ①成人式(着物・スーツ・ドレスなど)のアイテム、スタイリング、小物、ヘアメイク等トレンド情報収集 ②購入店やレンタル店などからの聞き込み情報 ③成人式でのおしゃれスナップ(他者) ④自身のスナップとコーディネート解説 ⑤レポート・プレゼン						Instagram投稿(3枚以上) 月末振り返り(レポート)				
1月	12	《成人式で見つけたおしゃれさん》 ①成人式(着物・スーツ・ドレスなど)のアイテム、スタイリング、小物、ヘアメイク等トレンド情報収集 ②購入店やレンタル店などからの聞き込み情報 ③成人式でのおしゃれスナップ(他者) ④自身のスナップとコーディネート解説 ⑤レポート・プレゼン						Instagram投稿(3枚以上) 月末振り返り(レポート)				
2月	6	《成人式で見つけたおしゃれさん》 ①成人式(着物・スーツ・ドレスなど)のアイテム、スタイリング、小物、ヘアメイク等トレンド情報収集 ②購入店やレンタル店などからの聞き込み情報 ③成人式でのおしゃれスナップ(他者) ④自身のスナップとコーディネート解説 ⑤レポート・プレゼン						Instagram投稿(1枚以上・前期トータル14枚以上) 後期振り返り(レポート)				
留意事項	スケジュール管理をしっかりと行い、提出物の期限厳守と前もった授業準備で忘れ物をしないこと											
教材、資料等	・ファッション雑誌											
評価方法 対象・比重	提出物90%、取り組み姿勢10% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。											

学科名	ファッションビジネス科											
分類	必修		必須 選択	○	学年	2	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									単位			
マーケティング									1単位			
担当教員	吉川 博美				科目区分	講義	60%	演習	40%	実習		
実務経験のある教員等による 授業科目			○	経験 内容	アパレル企業にて、アシスタントデザイナーとして3年間従事。在籍中、東京コレクションに参加。独立後、自身の店舗を構え、現在はECストアでの販売やイベントのオーガナイズを行なっている。							
授業との関連性				市場ニーズに合わせた企画の提案やECストアの開設やリテールMDなど、実践的な流れを指導								
授業目的	ファッションビジネス業界で即戦力として活躍できるための必要な専門知識を学ぶ											
	市場の流れを掴み、オリジナルショップ開催に向けて分析する力を養う。											
到達目標	ファッションビジネスの専門分野で学んだ知識により実践的な理論やメソッドを講義や演習等を通じて習得し、業界で											
	即戦力として活躍できるための必要なリテールMDの知識を身に付ける											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
4月	2	・企画書の作り方 店舗リサーチ(売り場のコンセプト・商品構成)										
5月	3	・ペルソナ分析 分析概要、ターゲットの設定、演習										
5月 6月	2	・商品戦略・販売戦略(目標にする店舗リサーチからの自店で取り組みたいことをまとめる)・市場分析(A/W)										
6月	1	・ECについて サイト作成、品揃え、デリバリー、決済等の仕組み										
6月	2	・取引先選定、調査について(徳永) 取引先(仕入先)の信用調査(氏名、住所、実績等)、取引方法										
7月	1	・仕入に伴う契約について(交渉方法、法的問題点 等)(徳永) 取引条件(仕入価格、掛け率、値入、売価等)、代金決済方法、契約書										
7月	1	・事業計画について(徳永) 概要、目的、成果(目標、売上高)等、収支予算書、販売計画書										
7月	1	・景品表示法について(徳永) 概要、不当な景品、不当な広告										
9月	1	・期末テスト ・振り返り										
9月	2	プロモーションツールについて学ぶ ・店内装飾、看板、ポップ ・ロゴ、チラシ、ポスター ・新聞、TV、Web										
留意事項												
教材、資料等		講義により指導及び業界情報誌を参考に研究										
評価方法 対象・比重		試験60%・提出物30%取組姿勢10% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名	ファッションビジネス科											
分類	必修		必須 選択	○	学年	2	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									単位			
マーケティング									1単位			
担当教員	吉川 博美				科目区分	講義	60%	演習	40%	実習		
実務経験のある教員等による 授業科目				○	経験 内容	アパレル企業にて、アシスタントデザイナーとして3年間従事。在籍中、東京コレクションに参加。独立後、自身の店舗を構え、現在はECストアでの販売やイベントのオーガナイズを行なっている。						
授業との関連性				市場ニーズに合わせた企画の提案やECストアの開設やリテールMDなど、実践的な流れを指導								
授業目的	ファッションビジネス業界で即戦力として活躍できるための必要な専門知識を学ぶ											
	市場の流れを掴み、オリジナルショップ開催に向けて分析する力を養う。											
到達目標	ファッションビジネスの専門分野で学んだ知識により、ショップ企画を補完するツール作成などの実践的な演習等を											
	通じて、リアルなショップを運営できるようリテールMDを習得する											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
10月	5	<ul style="list-style-type: none"> ・消費税転嫁(徳永) ・仕入れ先契約書作成、説明 ・プロモーション計画・準備 ・店舗不動産事情研究 ・市場分析(S/S) 										
11月	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書(収支計画書、販売計画書) 販売目標設定、収支予測(第1回) ・プロモーション実施 商品撮影、インスタ 										
12月	3	<ul style="list-style-type: none"> ・収支見通し予測(第2回) ・店舗什器研究、調査、調達 										
1月	3	<ul style="list-style-type: none"> ・売上分析ツール解説(徳永) ・企画書再編集、プレゼンテーションのポイント 										
2月	3	<ul style="list-style-type: none"> ・期末テスト ・振り返り ・演習 										
留意事項												
教材、資料等		講義により指導及び昨年度の成果物を参考に研究										
評価方法 対象・比重		試験60%・提出物30%取組姿勢10% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名	ファッションビジネス科								
分類	必修	○	必須 選択		学年	2	年	学期	通年
授業科目名								単位	
インターンシップ								1	
担当教員	馬場 裕二			科目区分	講義		演習		実習 100%
授業目的	将来のキャリアを視野に入れ、各自の専門性追及と業界・業態・職業自体への理解を深める。								
	自身の強味、弱み、適正などを見つけ将来の就職活動への備えとする。								
到達目標	受入先企業での実務経験を通して、即戦力となる知識と技術を身に付ける。								
	各自が将来目指す職種での社会経験、実務経験をとおして社会人としてのマナーを身に付ける。								
授業内容(授業展開)									
<p>期間(1週間～2週間程度)、時期は研修目的、受け入れ先企業と相談の上決定。 ・研修先は指導教員と定期的にミーティングを行い、受け入れ先企業を選定。 受入先企業決定後、研修内容等についてミーティング実施し、インターンシップ書類を作成</p>									
留意事項									
教材、資料等									
評価方法 対象・比重	受入先企業からの評価とインターンシップレポートにて評価する。 *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。								

学科名	プロフェッショナルデザイン科、ファッションビジネス科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	2	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									単位			
英会話									1単位			
担当教員	嶋田 ローズ 有華				科目区分	講義	20%	演習	80%	実習		
実務経験者の授業科目			○	経験 内容	経験年数:10年 公官庁の通訳、英語講座エンジョイ英会話を立ち上げ、中学校の臨時教師、ALTを務める。							
授業との関連性		日本での通訳や英語教師の経験を活かして、日常で使う英会話からビジネス英会話まで幅広く指導を行い国際言語を通して世界を広げる。										
授業目的	・自信を持ち楽しみながら英会話を学ぶ。											
到達目標	・ファッションに関連した言葉や、基本的なコミュニケーションフレーズを覚えて使えるようになる。											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
4月	2	自己紹介・ファッション用語(ファッションアイテム・柄)・感想や印象を述べる										
5月	4	単語(色・アメリカ英語とイギリス英語の違い)・基本的な英会話の学習・自分の服の素材の説明										
6月	4	動画視聴・ディクテーション学習・質問練習										
7月	3	動画作成・プレゼンテーション										
9月	3	テスト										
留意事項												
教材、資料等		適宜準備										
評価方法 対象・比重		・評価テスト80%・取組姿勢20% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名	ファッションビジネス科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	2	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									単位			
英会話									1単位			
担当教員	嶋田 ローズ 有華				科目区分	講義	20%	演習	80%	実習		
実務経験者の授業科目			○	経験 内容	経験年数:10年 公官庁の通訳、英語講座エンジョイ英会話を立ち上げ、中学校の臨時教師、ALTを務める。							
授業との関連性		日本での通訳や英語教師の経験を活かして、日常で使う英会話からビジネス英会話まで幅広く指導を行い国際言語を通して世界を広げる。										
授業目的	・自信を持ち楽しみながら英会話を学ぶ。											
到達目標	・ファッションに関連した言葉や、基本的なコミュニケーションフレーズを覚えて使えるようになる。											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
10月	3	観光用語、英語コミュニケーション問題、海外・国内の観光と文化の問題										
11月	4	写真説明、英語コミュニケーション、観光旅行事情の問題										
12月	4	英検対策、長文、ロールプレイ										
1月	2	英検対策、過去問、面接練習										
2月	2	作文「スクールイベント」、プレゼンテーション 後期テスト										
留意事項												
教材、資料等		適宜準備										
評価方法 対象・比重		・評価テスト80%・取組姿勢20% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名	ファッションビジネス科											
分類	必修		必須 選択	○	学年	2	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									単位			
ビジネス企画									3単位			
担当教員	吉川 博美				科目区分	講義	50%	演習		実習	50%	
実務経験のある教員等による 授業科目			○	経験 内容	アパレル企業にて、アシスタントデザイナーとして3年間従事。在籍中、東京コレクションに参加。独立後、自身の店舗を構え、現在はECストアでの販売やイベントのオーガナイズを行なっている。							
授業との関連性			市場ニーズに合わせた企画の提案やECストアの開設など、実践的な流れを指導									
授業目的	セレクトショップ企画を通してショップ運営～販売実務に関して実践的に学ぶ											
	リテールMD(小売業や流通業において、商品を売り出すための戦略や手法)について学ぶ											
到達目標	12月のセレクトショップに向けたショップ企画とプロモーションで来店者数、購入客数前年以上をクリアする											
	ターゲット、コンセプトの役割と品揃えとの結びつきを理解し、VMDと接客による販売力を身に付ける											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
4月	26	レポートの書き方										
		リテールMDとは										
		施設分析まとめ→各セレクトショップの特色										
		最終週 発表・資料提出										
		売れる仕組み										
5月	25	※GW中にペルソナ分析に際したデータ収集										
		①ペルソナ、メガトレンド分析										
		②ターゲット、コンセプト、ショップ名決定										
		③シーズンコンセプト、重点スタイリング										
		④年間の品揃え計画表										
6月	24	⑤仕入先候補リサーチ										
		⑥VMD										
		⑦ZINE構成入稿										
		⑧ECストア運営準備										
		①～⑧プレゼン資料まとめ、サマコン役割決め等										
7月	19	↓										
		サマコンリハーサル										
		サマコン発表										
出店案決定、担当決め、担当毎のスケジュール立案、夏休みの課題確認												
8月		夏休み(仕入れ先候補アポ、ショップリサーチ)										
9月	16	・進捗状況共有										
		・依頼書と概要作成										
		・鶴屋New-s交渉プレゼン										
		・仕入先交渉(9月中に交渉し確定する) ・メディア交渉										
留意事項												
教材、資料等		・過去のショップデータ										
評価方法 対象・比重		試験60%・提出物30%取組姿勢10% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名	ファッションビジネス科												
分類	必修		必須 選択	○	学年	2	年	学期	前期		後期	○	
授業科目名									単位				
ビジネス企画									4単位				
担当教員	吉川 博美				科目区分	講義	30%	演習	30%	実習	40%		
実務経験のある教員等による 授業科目	○	経験 内容	アパレル企業にて、アシスタントデザイナーとして3年間従事。在籍中、東京コレクションに参加。独立後、自身の店舗を構え、現在はECストアでの販売やイベントのオーガナイズを行なっている。										
授業との関連性	市場ニーズに合わせた企画の提案やECストアの開設など、実践的な流れを指導												
授業目的	セレクトショップ企画を通してショップ運営～販売実務に関して実践的に学ぶ												
	リテールMD(小売業や流通業において、商品を売り出すための戦略や手法)について学ぶ												
到達目標	12月のセレクトショップに向けたショップ企画とプロモーションで来店者数、購入客数前年以上をクリアする												
	ターゲット、コンセプトの役割と品揃えとの結びつきを理解し、VMDと接客による販売力を身に付ける												
授業内容(授業展開)													
時期	コマ数	授業内容											
10月	23	<ul style="list-style-type: none"> 仕入先交渉最終、交渉先まとめ 売り場レイアウト立案→大洋工芸打ち合わせ、見積→鶴屋打ち合わせ 看板、イーゼル、ショッパー等デザイン案提出 フライヤー作成と配布 ECストア運営 										メディア交渉 SNS発信	
11月	22	<ul style="list-style-type: none"> POP作成 販促物発注と買い出し 各フォーマット作成 各自商品管理表等作成 											
12月	21	<ul style="list-style-type: none"> レジ研修 商品搬入 《ショップオープン》 → { 追加発注 商品撤収 } → 商品返送 明細、お礼状作成											
1月	18	<ul style="list-style-type: none"> 全体企画書まとめ ボード作成(全体・担当) プレゼン資料まとめ 										卒業発表について オリジナルショップのまとめ と卒業ショーに自身のショップを表現してショーに参加	
2月	8	↓ プレゼンリハーサル ↓ 卒業発表										例 テーマをもとに衣装レンタルの交渉、スタイリング	
留意事項													
教材、資料等													
・過去のショップデータ													
評価方法 対象・比重													
試験60%・提出物30%取組姿勢10% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。													

学科名	プロフェッショナルデザイン科4年、ファッションビジネス科2年											
分類	必修	○	必須 選択		学年	2、4	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									単位			
一般教養									1単位			
担当教員	徳永隆裕				科目区分	講義	80%	演習	20%	実習		
授業目的	社会及び企業で要求される一般常識及びヒューマンスキルを身につけ、併せて就職試験で求められる一般教養試験へ対応できるようにする。											
到達目標	仕事をして行く上での最低限のコミュニケーション(口頭表現、文章表現)が出来る力を身に付け、就職試験で課される一般教養試験(国、数、英、社、時事等)で60%以上の得点が取得できるレベル。											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
4月	1	○企業研究確認 随時履歴書・面接等チェック										
4月	1	○SPAについて ○コミュニケーション及び自己表現能力の開発 ・面接・グループディスカッション演習										
5月～ 9月	11	・時事学習、研究 国内外の問題について 政治、経済、社会、歴史等について										
9月	2	・期末テスト ・振り返り										
留意事項												
教材、資料等	講義により指導及び各種メディア掲載情報を参考											
評価方法 対象・比重	テスト70%、提出物等30% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。											

学科名	プロフェッショナルデザイン科・ファッションビジネス科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	2・3	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									単位			
特別講義									1単位			
担当教員	特別講義関連講師				科目区分	講義	90%	演習		実習	10%	
授業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人として必要とされる一般常識、知識、教養を身に付ける ・美的感覚、感性を養う為に美術館等で様々な物を鑑賞する ・様々なライフスタイルの方々を講師に招き、企画やプランニングを行なう為に必要な知識を学ぶ 											
到達目標	<p>アパレルだけでなく社会人としての知識の幅を広げ、身に付けた知識、教養を各自のデザイン創造、企画等に活かすことが出来るようになる。</p> <p>様々なアートを見て、触れて本物を見る目を養う。</p>											
授業概要												
教材を基に座学で習得する知識だけでなく、アパレル分野に限らず様々な知識を特別講義関連講師より学ぶ。「知る」を増やし、様々なアートに触れ、感性を養う。												
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
4月	1	キャリア教育講習①										
	1	校外研修事前説明会										
	1	校外研修										
5月	1	学生実行委員会に関する説明会・オリエンテーション										
	1	キャリア教育講習②										
	1	DVD鑑賞「ファッション関連」										
	1	大掃除										
6月	1	特別講義（業界にて活躍中の卒業生によるセミナー、特別講師 デザイナーによる授業等）										
	1	キャリア教育講習③										
	1	大掃除										
	1	毛皮セミナー										
7月	1	サマーファッションコンテスト事前審査会										
	1	キャリア教育講習④										
	1	サマーファッションコンテスト事前準備・リハーサル										
9月	1	キャリア教育講習⑤										
	1	一般常識(電気・エネルギーに関して、金融に関して、選挙に関して、薬物に関して 等)										
	1	大掃除										
留意事項	一般常識についてのセミナーは特別支援相談・不動産・キャリアプラン・年金・保険・アクティブラーニング・精神、心の病・論理的思考について・就職関係・薬物乱用防止・織研新聞社セミナー等、その都度学生に必要とする講義を実施。											
教材、資料等												
評価方法 対象・比重	<p>レポート・提出物等80%、取組姿勢・出欠20%</p> <p>*試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。</p>											

学科名	プロフェッショナルデザイン科・ファッションビジネス科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	2・3	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									単位			
特別講義									1単位			
担当教員	特別講義関連講師				科目区分	講義	90%	演習		実習	10%	
授業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人として必要とされる一般常識、知識、教養を身に付ける ・美的感覚、感性を養う為に美術館等で様々な物を鑑賞する ・様々なライフスタイルの方々に講師に招き、企画やプランニングを行なう為に必要な知識を学ぶ 											
到達目標	<p>アパレルだけでなく社会人としての知識の幅を広げ、身に付けた知識、教養を各自のデザイン創造、企画等に活かすことができるようになる。</p> <p>様々なアートを見て、触れて本物を見る目を養い感性を伸ばす。</p>											
授業概要												
教材を基に座学で習得する知識だけでなく、アパレル分野に限らず様々な知識を特別講義関連講師より学ぶ。「知る」を増やし、様々なアートに触れ、感性を養う。												
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
10月	1	中・高校性ファッション画コンテスト 表彰式事前準備及びリハーサル										
	1	特別講義 (業界にて活躍中の卒業生によるセミナー、特別講師 デザイナーによる授業等)										
	1	大掃除										
11月	1	美術鑑賞(美術館等の展覧会鑑賞、観覧前セミナー)										
	1	DVD鑑賞「ファッション関連」										
	1	一般常識(電気・エネルギーに関して、金融に関して、選挙に関して、薬物に関して 等)										
	1	大掃除										
12月	1	国内・海外研修に関して事前説明会										
	1	DVD鑑賞「ファッション関連」										
	1	大掃除										
1月	1	美術鑑賞(美術館等の展覧会鑑賞、観覧前セミナー)										
	1	一般常識(電気・エネルギーに関して、金融に関して、選挙に関して、薬物に関して 等)										
	1	大掃除										
2月	1	就職関係 (企業セミナー、Jobカードセミナー等)										
	1	DVD鑑賞「ファッション関連」										
	1	大掃除										
3月	1	学生実行委員会に関して 次年度に向けた移行準備										
	1	一般常識(電気・エネルギーに関して、金融に関して、選挙に関して、薬物に関して 等)										
留意事項	一般常識についてのセミナーは特別支援相談・不動産・キャリアプラン・年金・保険・アクティブラーニング・精神、心の病・論理的思考について・就職関係・薬物乱用防止・織研新聞社セミナー等、その都度学生に必要とする講義を実施。											
教材、資料等												
評価方法 対象・比重	<p>レポート・提出物等80%、取組姿勢・出欠20%</p> <p>*試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。</p>											

学科名	プロフェッショナルデザイン科・ファッションビジネス科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	1・2・3・4	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									単位			
イベント・学校行事									1単位			
担当教員	関連講師				科目区分	講義	5%	演習		実習	95%	
授業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人として必要とされる一般常識、知識、教養を身に付ける ・イベントや行事実施にあたって必要とされる企画・準備・実施を通し、社会性・協調性を身に付ける。 ・学校行事の運営を通して職業人としての責任と自信を涵養。 											
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・担当、役割に応じた運営を行い、学科・学年を超えてコミュニケーションを取り合い、イベント・行事を成功へと導く。 											
授業概要												
<p>習得した知識を実践方式で実習を行う。「知る」から「できる」への実習を行い、理解力を深める。 各行事・イベント毎に担当・指導する講師のもと、各自が自分で考え報・連・相を取りながら実習を行う。</p>												
授業内容(授業展開)												
時期	授業内容											
4月	校外研修事前説明会及び学科・学年を超えたコミュニケーション											
	校外研修											
	校外研修											
5月	学生実行委員会に関する説明会・オリエンテーション											
	各学生実行委員毎に年間スケジュール計画											
	各学生実行委員毎に年間スケジュール計画・役割決め											
	サマーファッションコンテスト実施に向けた活動①											
6月	サマーファッションコンテスト実施に向けた活動②											
	サマーファッションコンテスト実施に向けた活動③											
	サマーファッションコンテスト実施に向けた活動④											
	サマーファッションコンテスト実施に向けた活動⑤											
7月	サマーファッションコンテスト 事前審査会実施											
	サマーファッションコンテスト事前準備・リハーサル											
	サマーファッションコンテスト実施											
9月	サマーファッションコンテスト まとめ											
	中・高校生ファッション画コンテスト表彰式実施に伴う活動①											
	中・高校生ファッション画コンテスト表彰式実施に伴う活動②											
留意事項	学生実行委員会には【学生イベント企画委員・学生広報委員・学生ECクラブ・サマーファッションコンテスト実行委員・卒業企画実行委員】が含まれる											
教材、資料等												
評価方法 対象・比重	行事・イベント実施まで準備期間の取組み50%、行事・イベント実施日の取組み40%、出欠10%*取組み姿勢 優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。											

学科名	プロフェッショナルデザイン科・ファッションビジネス科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	1・2・3・4	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									単位			
イベント・学校行事									1単位			
担当教員	関連講師				科目区分	講義	5%	演習		実習	95%	
授業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人として必要とされる一般常識、知識、教養を身に付ける ・イベントや行事実施にあたって必要とされる企画・準備・実施を通し、社会性・協調性を身に付ける。 ・学校行事の運営を通して職業人としての責任と自信を涵養。 											
到達目標	・担当、役割に応じた運営を行い、学科・学年を超えてコミュニケーションを取り合い、イベント・行事を成功へと導く。											
授業概要												
習得した知識を実践方式で実習を行う。「知る」から「できる」への実習を行い、理解力を深める。 各行事・イベント毎に担当・指導する講師のもと、各自が自分で考え報・連・相を取りながら実習を行う。												
授業内容(授業展開)												
時期	授業内容											
10月	中・高校生ファッション画コンテスト表彰式実施に伴う活動③											
	中・高校性ファッション画コンテスト 表彰式事前準備及びリハーサル											
	中・高校性ファッション画コンテスト 表彰式実施											
11月	中・高校性ファッション画コンテスト 表彰式 まとめ											
	学生イベント企画 活動① ドレスコードイベント											
	学生イベント企画 活動② ドレスコードイベント											
	学生イベント企画 活動③ ドレスコードイベント											
12月	学生イベント企画 活動⑤ スポーツ大会											
	学生イベント企画 活動⑥ スポーツ大会											
	卒業企画発表 実施に向けた活動①											
1月	卒業企画発表 実施に向けた活動②											
	卒業企画発表 実施に向けた活動③											
	卒業企画発表 実施に向けた活動④											
2月	卒業企画発表 実施に向けた活動⑤											
	卒業企画発表 事前準備・リハーサル											
	卒業企画発表 実施											
3月	卒業企画発表 まとめ											
	学生実行委員会に関して 次年度に向けた移行準備											
留意事項	学生実行委員会には【学生イベント企画委員・学生広報委員・学生ECクラブ・サマーファッションコンテスト実行委員・卒業企画実行委員】が含まれる											
教材、資料等												
評価方法 対象・比重	行事・イベント実施まで準備期間の取組み50%、行事・イベント実施日の取組み40%、出欠10%*取組み姿勢 優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。											